

## 相談支援部会からの活動報告

1. 市川市障害者相談支援事業ガイドラインの改定について
  - ・セルフケアプランの考え方、取り扱いについて追加する
  
2. 市川市全体における相談支援体制の整備について → 障害福祉計画に反映させる
  - ・基幹支援センターの設置のあり方
  - ・計画相談の基盤整備のあり方
  - ・その他
  - \* 9月に杉並区の体制を視察予定
  - \* 次回の自立支援協議会に向けて相談支援部会としての素案をとりまとめ
  
3. 今年度の相談支援事業に関わる研修の計画と実施
  - ・下半期に検討
  
4. その他
  - ・養育園及び更生園利用者の計画相談について

# 基幹型 支援センター



## 平成25年度 基幹型支援センターえくる 報告

### I・平成25年度報告

- 1) H21～H25 相談者数推移
- 2) えくる支援ステージ
- 3) 新規相談者・年代別分布
- 4) 新規相談者・年代別割合
- 5) 新規相談者・障害別割合
- 6) 身体障害部位割合
- 7) H25年度新規入口
- 8) 新規入口割合
- 9) 支援方法・コンタクト手段
- 10) 支援形態内訳
- 11) 総合相談事業項目内訳
- 12) 相談内容内訳

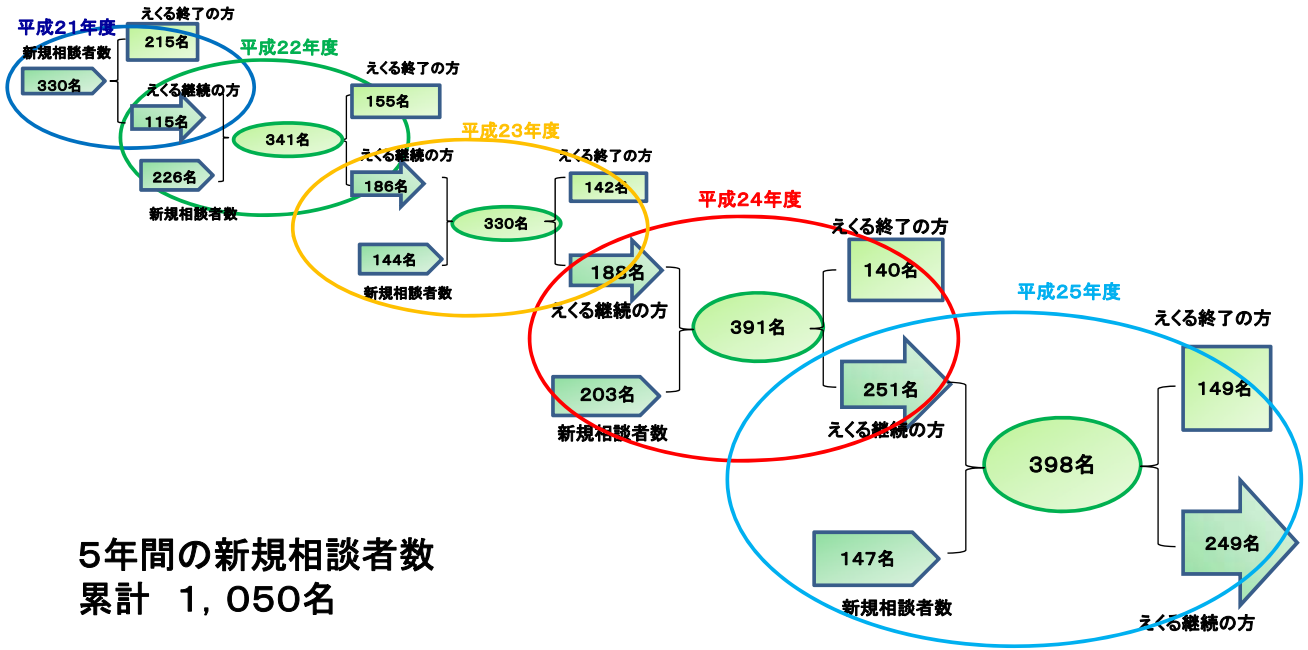
### II・えくるの5年間の累積データ

- 13) 相談の形態推移
- 14) 事業別の件数推移
- 15) えくるへの入口割合
- 16) 障害別の総計と割合
- 17) 市内地域別相談者分布
- 18) 事例を通しての北部および南部における特色と傾向



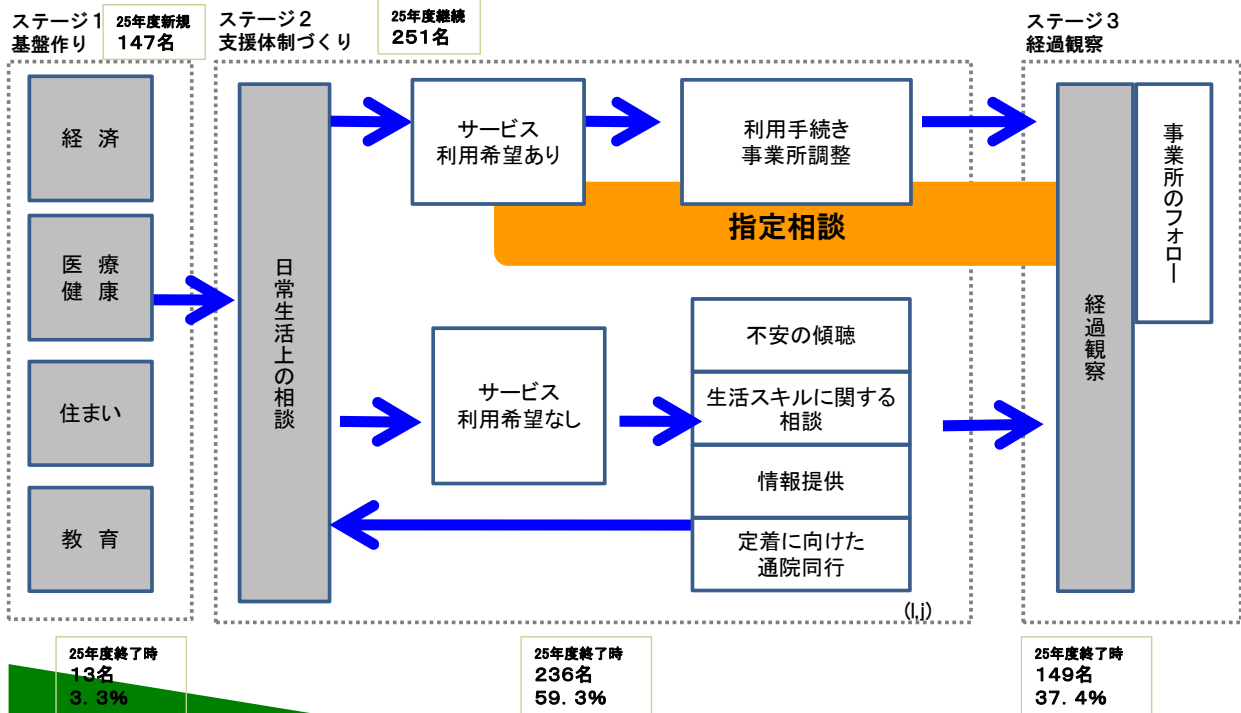
# 1) 平成21年度～25年度相談者数推移

H21・4/16～H26・3/31



平成25年度えくる報告

## 2) えくる支援ステージ



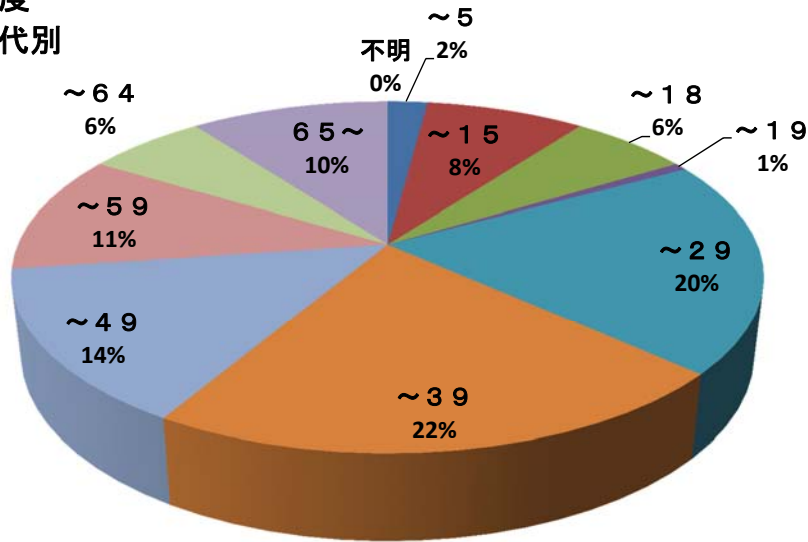
えくるの支援ボリューム

平成25年度えくる報告

基幹型支援センターえくる



### 3) 平成25年度 新規相談者・年代別



25年度

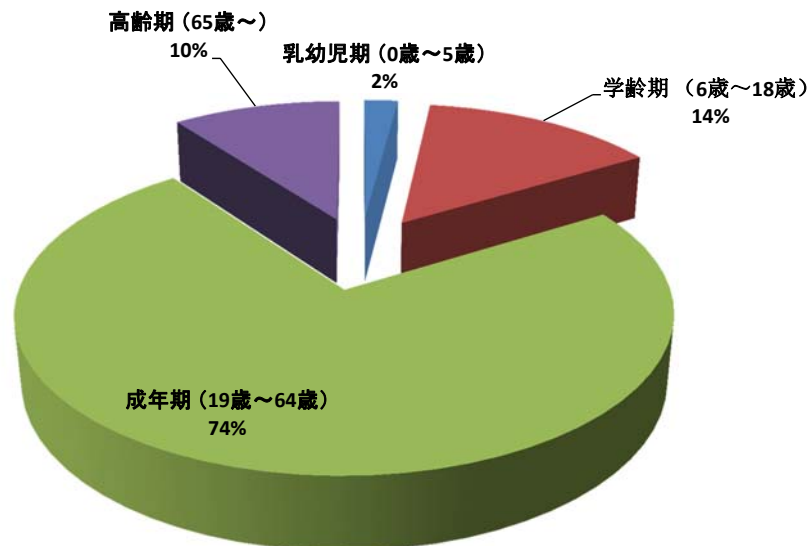
年齢	~5	~15	~18	~19	~29	~39	~49	~59	~64	65~	不明	合計	
人数	3	12	9	1	29	32	21	16	9	15	0	147	
	25					107					15	0	147

24年度

年齢	~5	~15	~18	~19	~29	~39	~49	~59	~64	65~	不明	合計	
人数	4	19	10	3	27	44	44	22	9	21	0	203	
	36					146					21	0	203

平成25年度える報告

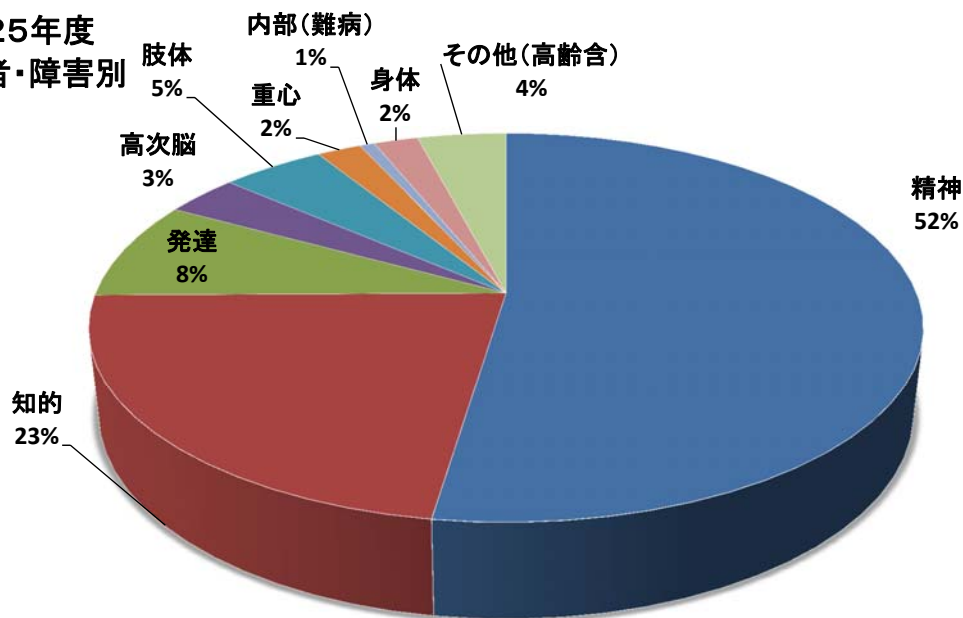
### 4) 平成25年度 年代別割合



乳幼児期 (0歳~5歳)	学齢期 (6歳~18歳)	成年期 (19歳~64歳)	高齢期 (65歳~)
3	21	108	15

平成25年度える報告

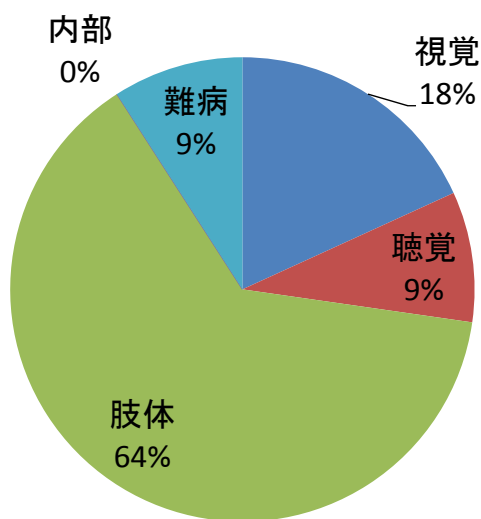
5)平成25年度  
新規相談者・障害別



	精神	知的	発達	高次脳	肢体	重心	内部(難病)	身体	その他(高齢含)	計
平成25年度	77	33	12	5	7	3	1	3	6	147
	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
平成24年度	97	46	21	14	7	5	4	1	8	203

平成25年度える報告

6)身体障害部位割合



	視覚	聴覚	肢体不自由	内部障害	難病
平成25年度	2	1	7	0	1

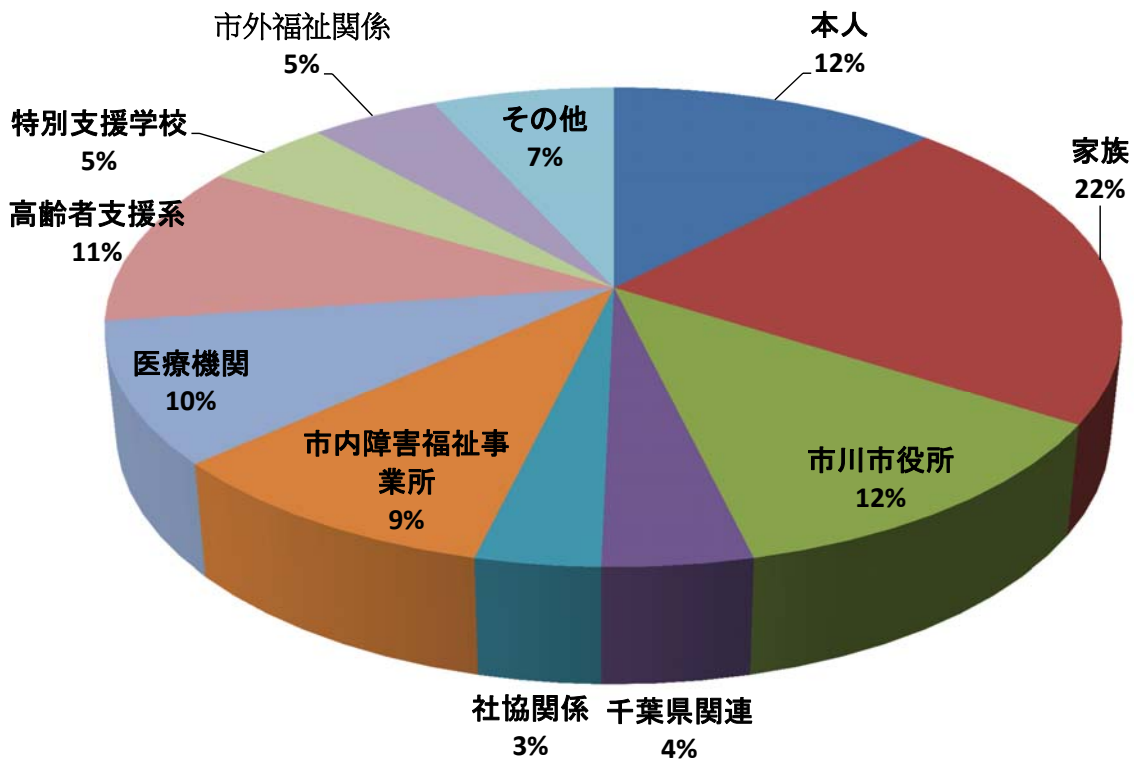
平成25年度える報告

## 7)平成25年度 新規入口

大項目	件数	中項目	件数
本人	18	本人	18
家族	32	親	25
		きょうだい	2
		配偶者	3
		子	2
市川市役所	18	障害者支援課	9
		福祉事務所	5
		地域福祉支援課	1
		高齢者支援課	1
		男女共同参画	1
		保健センター	1
千葉県関連	6	警察	1
		保健所	5
社協関係	5	社協	5
市内障害福祉事業所	14	障害福祉サービス事業所	10
		委託就労支援機関	3
		中核センター	1
医療機関	14	精神科医療機関	5
		医療機関	2
		市外医療機関	7
高齢者支援系	16	包括	3
		在支	5
		介護CM	8
特別支援学校	7	特別支援学校	7
市外福祉関係	7	市外福祉関係機関	7
その他	10	不動産	5
		相談者知り合い	3
		その他	2

平成25年度える報告

## 8)平成25年度えるへの入口割合

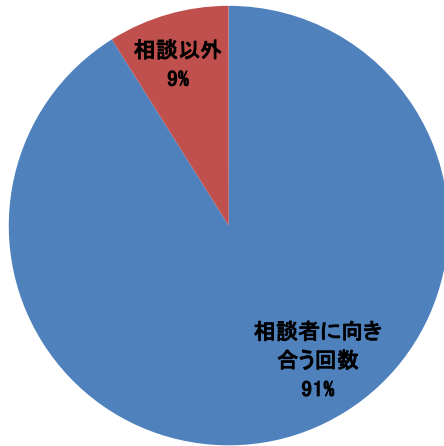


平成25年度える報告

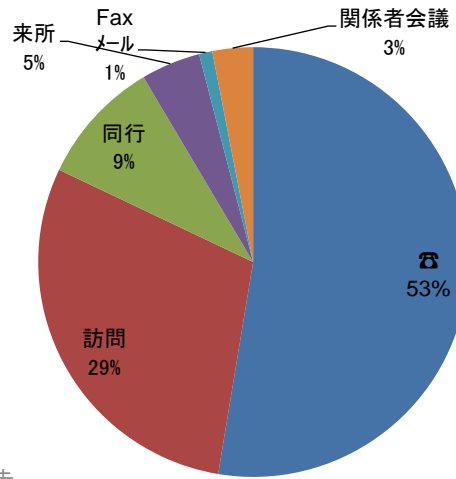
## 9) 平成25年度 支援方法・コンタクト内訳

☎	2,000
訪問	1,120
同行	358
来所	170
Fax・メール	38
関係者会議	116
対相談者	3,802
会議	270
研修	41
企画の実施、打合せ	50
見学・説明	3
その他	8
相談以外	372

える内部件数比率



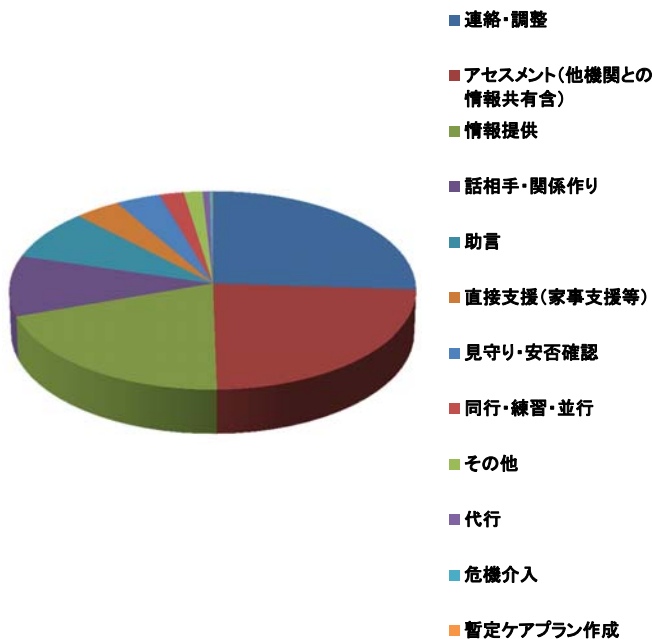
コンタクト方法内訳



平成25年度える報告

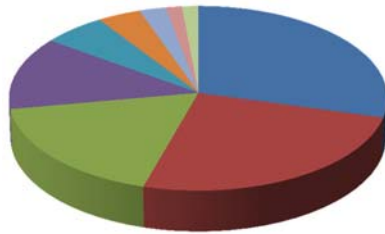
## 10) 平成25年度 支援形態内訳

連絡・調整	2,507	26.0%
アセスメント(他機関との情報共有含)	2,289	23.7%
情報提供	1,926	20.0%
話相手・関係作り	951	9.9%
助言	795	8.2%
直接支援(家事支援等)	374	3.9%
見守り・安否確認	368	3.8%
同行・練習・並行	200	2.1%
その他	153	1.6%
代行	57	0.6%
危機介入	21	0.2%
暫定ケアプラン作成	7	0.1%



平成25年度える報告

## 11) 平成25年度 総合相談事業項目内訳

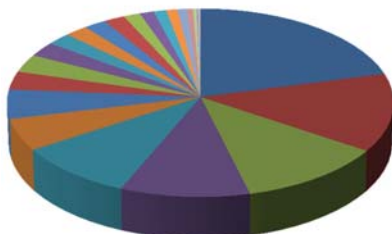


- 専門的な相談支援を要するケース
- 社会生活力を高めるための支援
- 社会資源を活用するための支援
- 障害福祉サービスの利用援助
- 障害福祉サービス分野におけるネットワーク構築
- 入居支援・入居継続支援
- 居住支援のための関係機関によるサポート体制の整備
- 専門機関の紹介
- その他

専門的な相談支援を要するケース	3,202	29.3%
社会生活力を高めるための支援	2,753	25.2%
社会資源を活用するための支援	1,942	17.8%
障害福祉サービスの利用援助	1,401	12.8%
障害福祉サービス分野におけるネットワーク構築	626	5.7%
入居支援・入居継続支援	430	3.9%
居住支援のための関係機関によるサポート体制の整備	263	2.4%
専門機関の紹介	159	1.5%
その他	158	1.4%
権利擁護	6	0.1%

平成25年度える報告

## 12) 平成25年度 相談内容内訳



- 家族・人間関係
- 保健・医療(機関紹介含)
- 経済的相談(手当・給付含)
- 障害との付き合い方(精神的訴え・傾聴含)
- 【障】日中活動(福祉的就労含)
- 就労(一般・障害者雇用)
- 住宅・不動産
- 【障】訪問系(ホームヘルプ含)
- 自立支援医療
- 【障】相談支援(計画、移行、定着)
- 【障】居住(GH含)
- その他

家族・人間関係	1,895	21.0%
保健・医療(機関紹介含)	1,209	13.4%
経済的相談(手当・給付含)	1,062	11.8%
障害との付き合い方(精神的訴え・傾聴含)	924	10.2%
【障】日中活動(福祉的就労含)	857	9.5%
就労(一般・障害者雇用)	492	5.4%
住宅・不動産	454	5.0%
【障】訪問系(ホームヘルプ含)	282	3.1%
自立支援医療	280	3.1%
【障】相談支援(計画、移行、定着)	230	2.5%
【障】居住(GH含)	192	2.1%
その他	184	2.0%
家事等	179	2.0%
趣味・余暇	170	1.9%
不穏時・緊急対応	133	1.5%
介護保険(紹介含)	113	1.3%
手帳	102	1.1%
年金	88	1.0%
保育・教育・学校	77	0.9%
【権】福祉サービス利用援助事業	48	0.5%
その他制度(児童福祉法等)	29	0.3%
制度外(日中活動・HH・居住)	13	0.1%
日常生活用具・補装具	6	0.1%
自助グループ等紹介	4	0.0%
【権】成年後見制度	4	0.0%
【権】虐待	4	0.0%
【権】その他	2	0.0%

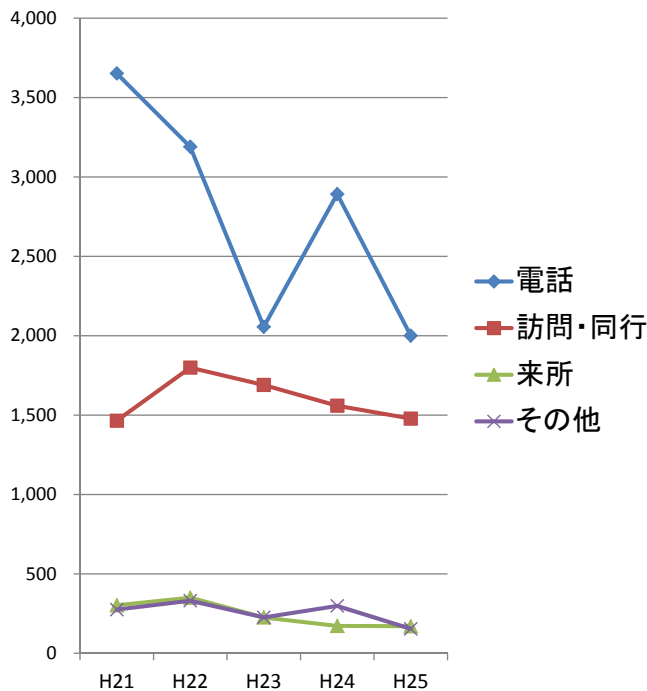
平成25年度える報告



# えくるの5年間の累積データ

平成25年度えくる報告

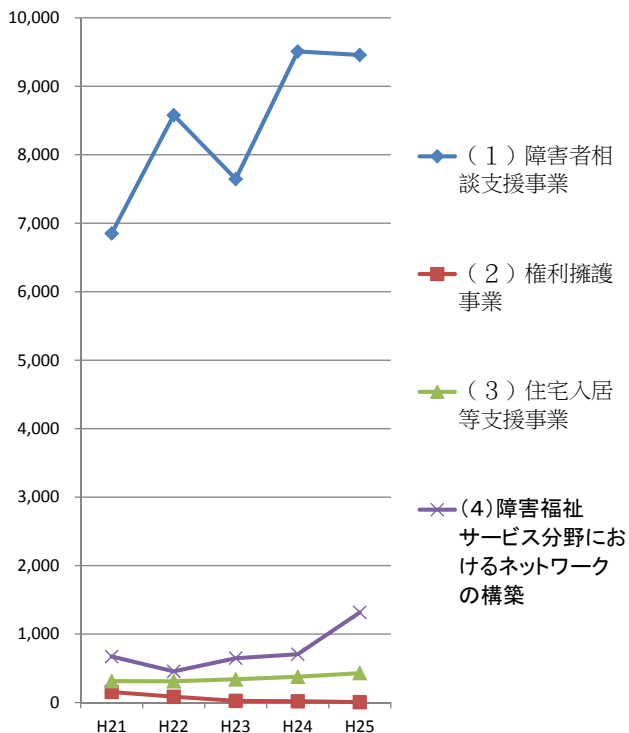
## 13) 5年間(各年度累計) 相談形態推移



	電話	訪問・同行	来所	その他
H21	3,652	1,465	302	275
H22	3,190	1,799	350	331
H23	2,056	1,690	225	226
H24	2,892	1,559	172	298
H25	2,000	1,478	170	154

平成25年度えくる報告

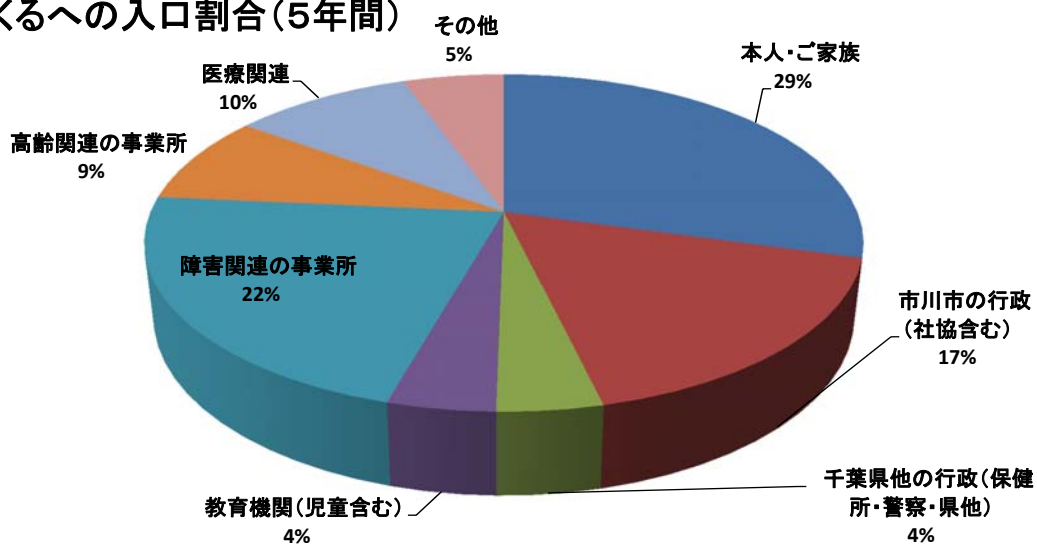
### 14) 5年間(各年度累計) 事業別件数推移



	(1) 障害者相談支援事業	(2) 権利擁護事業	(3) 住宅入居等支援事業	(4) 障害福祉サービス分野におけるネットワークの構築
H21	6,851	154	312	673
H22	8,579	86	311	456
H23	7,645	25	339	648
H24	9,509	19	377	706
H25	9,457	6	430	1,317

平成25年度える報告

### 15) えるへの入口割合(5年間)

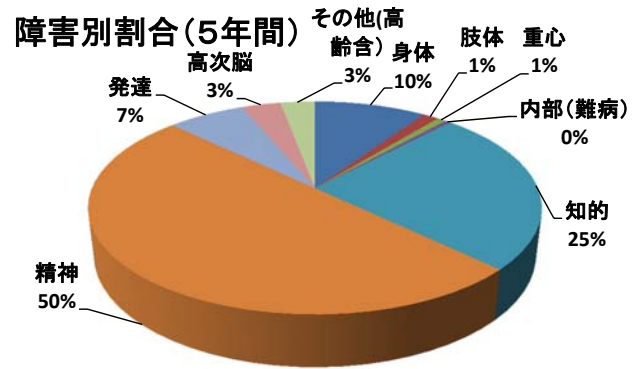
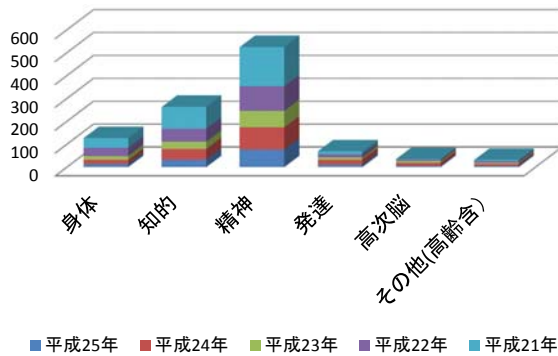


	21年	22年	23年	24年	25年	累計
本人・ご家族	130	43	22	63	50	308
市川市の行政(社協含む)	49	42	31	33	23	178
千葉県他の行政(保健所・警察・県他)	2	14	16	4	6	42
教育機関(児童含む)	7	12	10	7	7	43
障害関連の事業所	99	51	24	37	21	232
高齢関連の事業所	14	24	13	22	16	89
医療関連	18	25	24	20	14	101
その他	11	15	4	17	10	57
合計	330	226	144	203	147	1,050

平成25年度える報告

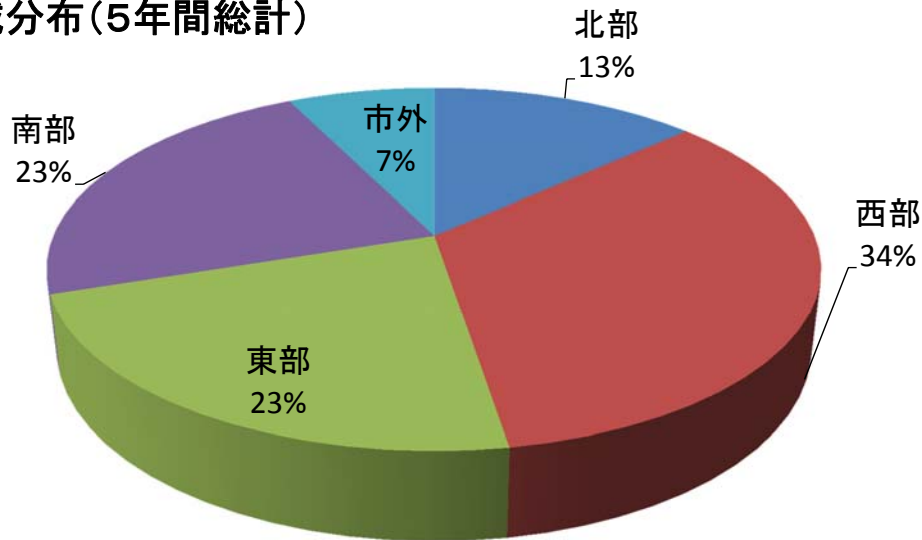
	身体	肢体	重心	内部(難病)	知的	精神	発達	高次脳	その他(高齢者)	合計
平成25年	3	7	3	1	33	77	12	5	6	147
平成24年	1	7	5	4	46	97	21	14	8	203
平成23年	18				32	72	9	7	6	144
平成22年	35				57	107	15	6	6	226
平成21年	43				95	172	12	3	5	330
合計	100	14	8	5	263	525	69	35	31	1,050

### 16) 障害別総計(5年間)



平成25年度える報告

### 17) 地域分布(5年間総計)



<b>北部</b> (大町・大野町・南大野・柏井町・奉免町・宮久保・下貝塚・曾谷)	140
<b>東部</b> (北方町・本北方・若宮・北方・中山・鬼越・高石神・八幡・南八幡・東大和田・大和田・東菅野・鬼高・稲荷木・田尻・高谷・原木・二俣・東浜・二俣新町・田尻・上妙典・高谷新町)	236
<b>西部</b> (国府台・北国分・中国分・堀之内・稲穂町・東国分・国分・市川・真間・須和田・菅野・市川南・新田・平田・大洲)	358
<b>南部</b> (河原・妙典・下妙典・下新宿・本行徳・本塩・関ヶ島・伊勢宿・押切・富浜・末広・行徳駅前・塩焼・宝・幸・加藤新田・高浜町・入船・日之出・千鳥町・新浜・塩浜・湊・湊新田・香取・欠真間・福栄・南行徳・相之川・広尾・島尻・新井)	239
<b>市外</b>	77
	1,050

平成25年度える報告

## 18) 事例を通しての北部および南部における特色と傾向

### 【北部キーワード】

- ・ひきこもりが長い・地域とのつながりが少ない・自宅に居住

### 【北部】

- ・70代の母親と50代長男、40代次男の三世帯。持家。
- ・長男は仕事が続かず引きこもり、自室はモノがあふれているが、入れてもらえない状況。
- ・次男は精神科に通院中。以前は自営業を行っていたが、発症により廃業後仕事はせずにふらふらしている。
- ・母親が認知症を発症し金銭管理が難しくなり、光熱費の滞納が継続
- ・近隣から食料やお金を借りながらしのぐ生活を継続
- ・自宅の片付けができず、通帳や印鑑など必要なものを紛失している状況

→えくるでは、**地域包括と連携しながら後見申し立ての検討、生活基盤構築、長男と次男の今後の生活を見据えた支援を行う**

平成25年度えくる報告

### 【南部キーワード】

- ・都内へのあこがれ・一人住まい・障害理解が少ない

### 【南部①】

- ・単身/30代女性
- ・都内に勤務していたがうつ病を発症し休職後、退職。
- ・家賃、光熱費が支払えなくなり、医療機関より生保申請のサポート依頼
- ・外出もできずにひきこもり、買い物、食事、清掃など日常生活全般の支援が必要な状況
- ・今後の生活の不安や仕事に対する焦燥感が強く、怠業と状態の悪化を繰り返す

→**病気の受容を促すとともに、基盤構築、生活面での支援を行うためサービス調整**

### 【南部②】

- ・父親、本人、就学前のこどもの三世帯/持家
- ・精神疾患を持つ本人の収入と預貯金で生活
- ・病状が安定しない中、数か月働いては休職や退職を繰り返すため、本人も疲弊
- ・父親の本人に対する障害理解がなく、「働いてもらわないと困る」「年金を受給すると怠けてしまう」など制度利用に対して難色

→えくるでは、**家族に本人の障害理解を促すとともに障害年金や各種手当など制度を利用するなどの、子育ての支援対策を行う**

平成25年度えくる報告

就労支援担当者会議からの報告

1. 構成メンバー

市川市障害者支援課、就労移行支援事業所（南八幡ワークス、えるワーク、障がい者就職塾、第1レンコンの家、パル、ユースキャリアセンターフラッグ、N-FIT、リバーサル市川、リボン行徳駅前校、ワークアイ・ジョブサポート、ビルド）、南八幡メンタルサポートセンター、ACT-J、就業・生活支援センター いちされん、基幹型支援センターえくる、障害者就労支援センター アクセス

2. 活動報告

(1) 就労移行支援事業所 合同説明会

【開催回数】 2 回（1 回は特別支援学校向け）

【日程】（仮）11/16（日）13:00～17:00（特別支援学校向けの会は未定）

【場所】 未定

【内容】 就労移行支援事業の概要説明後、体験できる就労移行のプログラムを

「自己分析」、「コミュニケーション」、「作業」、「PC」、「卒業生のトーク」の5つのテーマに分けてブースを設置。各事業所が協力して実施していく。

集客については、昨年いちされんが郵送した先 79 か所に対して、今年はしゅうたん会議参加事業所が分担で訪問配布する（10月中旬までに終了する）。

(2) 雇用促進セミナー

【日程】 2015 年 2 月頃予定

【場所】（仮）市川市役所本庁

【内容】 障害者雇用の制度や概要説明後、本庁内のチャレンジドオフィスいちかわを

見学し、実際に働く障害者を見てもらう。その後昨年度好評だった求職者による企業へのプレゼンテーションを行い、まとめとして意見交換会を実施する方向で話が進んでいる。

平成 26 年 8 月 21 日（木）

## 福祉的就労担当者会議からの報告

### 1. 構成メンバー

自立支援協議会・障害者支援課・市川市メンタルサポートセンター・スクラム  
市川市南八幡ワークス・ぽらりす・いぶき・コスモ・スタジオほっとハート  
ハピネス行徳・里見工房・ビーあるふぁ・フォルテ行徳

### 2. 現在の取り組み（各ワーキンググループの報告）

#### ① 消費税対策

ワーキンググループを2回行い、消費税転嫁対策特別措置法に関する勉強、受注作業と製品製造・販売等の消費税取り扱いの現状と対策について案を出し検討中。現状の消費税対応状況の改善と今後の消費税増税に向けて、市川市内の事業所が消費税についての知識の共有し、業者と適正な交渉を行えるよう、引き続きワーキンググループにて検討していく。

#### ② 事業所情報の共有

ふくたん加盟事業所・いちされん加入事業所を中心に、いちされん発行の「障害者就労移行事業所ガイド」を参考に検討中。利用を希望する方が選びやすい様にフローチャートを用いた提示方法などを検討している。

活用方法は、市川市障害者支援課や相談支援事業所での案内に活用できればと考えている。

#### ③ 事例検討会

事業所や支援者がかかえる問題（工賃向上、利用者への支援、就労支援 etc..）を今後のより良い支援につなげていくために、9月より福祉的就労担当者会議の場を活用し事例検討会をおこなう予定。

事例検討会の進め方は、グループスーパービジョンを活用する。

以上

## 生活支援部会 活動報告

## ◇人材確保・障害理解促進の取り組み

- ・和洋女子大の大学祭（里見祭）の場を活用した障害者と学生ボランティアの交流イベントの開催を予定。今年度は定員を20名に増やし、時間も延長。多くの障害者が、学生と触れ合う機会を作ることで、自然な形で理解が進むことを目的としている。
- ・市民向け啓発活動として、今年度も障害者週間の日曜日（12/7）に人権週間イベントと連動して開催予定。（仮称：I & あいフェスタ 2014）生活支援部会を中心に、各連絡会、障害者支援課、障害者施設課等より委員を募り実行委員会を結成。8月27日（水）に第1回の実行委員会を開催予定。

## ○日中活動連絡会（隔月開催）

- ・タクシー送迎のモデル実施は、9月、10月に試行予定。その後については、タクシー会社と相談。
- ・職員の資質の向上を目的として、事例検討会を実施予定。また、行動障害のある方の支援を学ぶ場として応用行動分析の研修を実施予定（10月3日）

## ○居宅支援連絡会（年3回程度開催）

- ・連絡会の場では、伝達、報告の他にミニ研修を実施。今後、計画相談支援が浸透していくと、居宅介護事業所もサービス担当者会議に出席することになるため、通所サービス等についての基礎的知識の必要性が出ることを見越して。

## ○グループホーム等連絡協議会

- ・グループホーム（GH）のニーズ調査を実施。今年度は、調査の対象を精神障害者にも広げた他、通所サービス利用者以外に、相談支援事業所等にもアンケート調査。入居の必要性が高いと見込まれる方には個別に対応する。また、本人と親、支援者で、GHでの生活を希望する割合、独立の時期の考え方に差があることが明らかになった。

## ○重心サポート会議

- ・昨年に引き続き、「お泊りどれみ♪」を実施。今年度は民間の事業所を使ってのお泊りをサポート。

## ◇泊る場

生活支援部会発足当初から、短期間泊れる場の必要性は認識されていたものの、「自立生活体験」「緊急一時避難」「自立の練習・訓練」などのニーズに対応する具体的な話にまで至らずにいた。この度、市川市内で短期入所事業の実施の方向という情報提供があり、部会の際に意見交換をおこなった。様々なニーズの方が利用できるような柔軟な運用をという声があがっている。

以上

## 第2回自立支援協議会 障害者団体連絡会資料

第2回障害者団体連絡会本会議が8月26日の為、役員会報告とする。

新庁舎建築の市からの説明、質疑、応答

危機管理課、防災時の対策について質疑の確認

障害者基本特性、防災時の啓発パンフレット実行委員会の報告、今後の予定

障害者団体連絡会運営方法、予算、市からの独立について

障害者週間実行委員派遣について

今年度の予定

11月 全体会 新庁舎の説明 障害者週間の話

12月 障害者週間

2月 全体会 来年度の年間予定、障害者差別解消法や障害も有る人も障害も無い人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例の合理的配慮についての勉強会

11月も2月も、障害者団体連絡会、運営方法や予算、市川市役所からの独立について

障害者団体連絡会 代表  
大井好美